

気象予報士としての 脱炭素への取り組み

気象予報士/東京造形大学非常勤講師 長谷部 愛

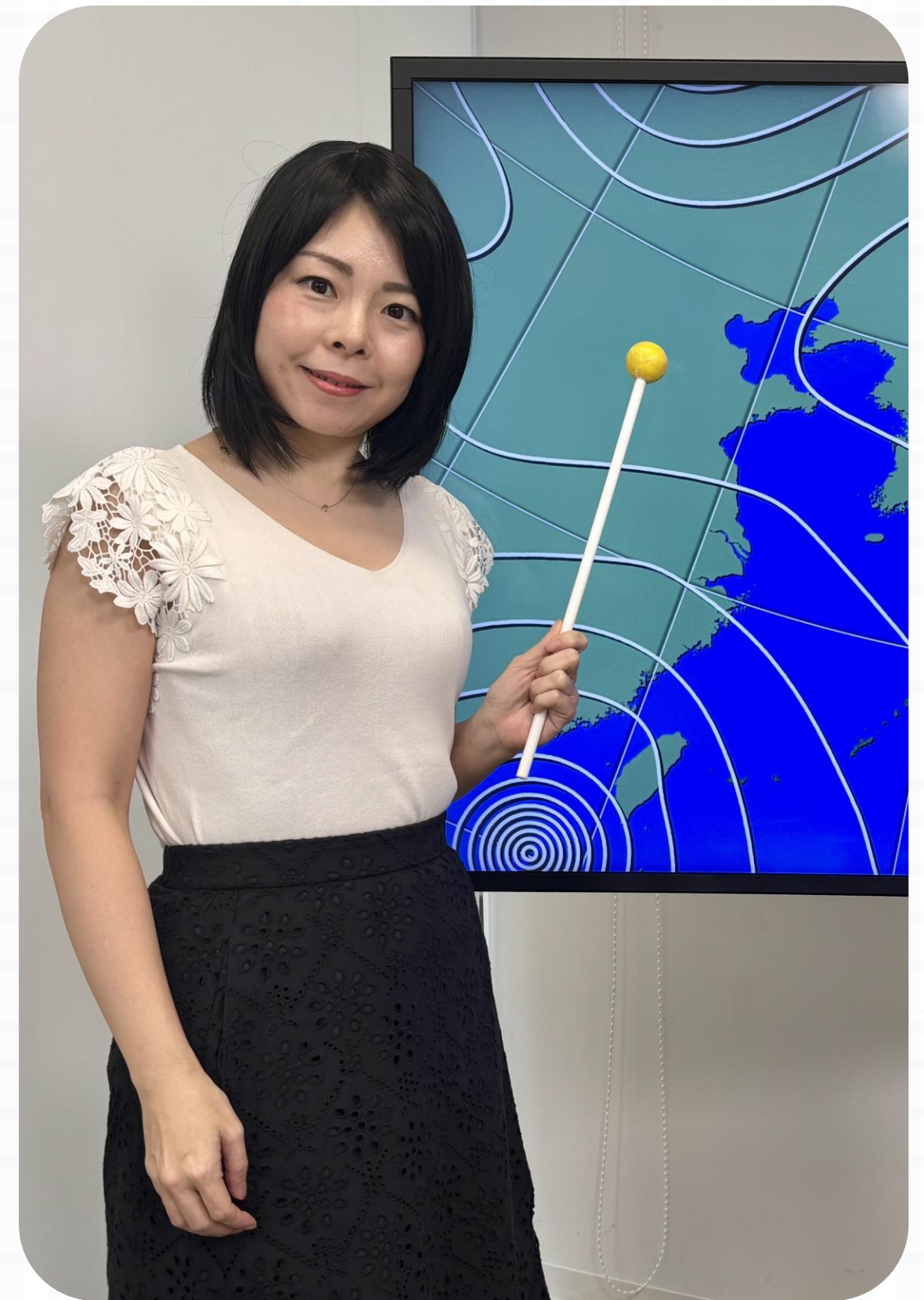
2025年11月

長谷部 愛

- ・ 信州大学教育学部 理数科学教育学科 卒業
→テレビ、ラジオ局勤務
- ・ 2013年より気象予報士（TBSラジオほか）
- ・ 2018年より東京造形大学非常勤講師
（サステナブルデザイン論）

テレビ、ラジオ出演他

講演会や執筆活動など



脱炭素へのアクション



大学での講義を通して

サステナブルデザイン
論では学生に環境負荷
の少ない創作を促す



地域のリーダーとして

地域向けの講演会や
ワークショップを通じた
草の根運動



メディアでの発信

地球温暖化についての
理解を促すことで
脱炭素を意識

→ 学生 ・ 一般の方への意識づけ

暑さの記録を続々更新

最高気温の高い方から (各地点の観測史上1位の値を使ってランキングを作成)

順位	都道府県	地点	観測値		現在観測を実施
			℃	起日	
1	群馬県	伊勢崎	41.8	2025年8月5日	○
2	静岡県	静岡 *	41.4	2025年8月6日	○
//	埼玉県	鳩山	41.4	2025年8月5日	○
4	群馬県	桐生	41.2	2025年8月5日	○
//	兵庫県	柏原	41.2	2025年7月30日	○
6	静岡県	浜松 *	41.1	2020年8月17日	○
//	埼玉県	熊谷 *	41.1	2018年7月23日	○
8	群馬県	前橋 *	41.0	2025年8月5日	○
//	栃木県	佐野	41.0	2024年7月29日	○
//	岐阜県	美濃	41.0	2018年8月8日	○
//	岐阜県	金山	41.0	2018年8月6日	○
//	高知県	江川崎	41.0	2013年8月12日	○
13	静岡県	天竜	40.9	2020年8月16日	○
//	岐阜県	多治見	40.9	2007年8月16日	○
15	新潟県	中条	40.8	2018年8月23日	○
//	東京都	青梅	40.8	2018年7月23日	○
//	山形県	山形 *	40.8	1933年7月25日	○
18	山梨県	甲府 *	40.7	2013年8月10日	○
19	茨城県	古河	40.6	2025年8月5日	○
//	京都府	福知山	40.6	2025年7月30日	○
//	新潟県	寺泊	40.6	2019年8月15日	○
//	和歌山県	かつらぎ	40.6	1994年8月8日	○

2025年 記録

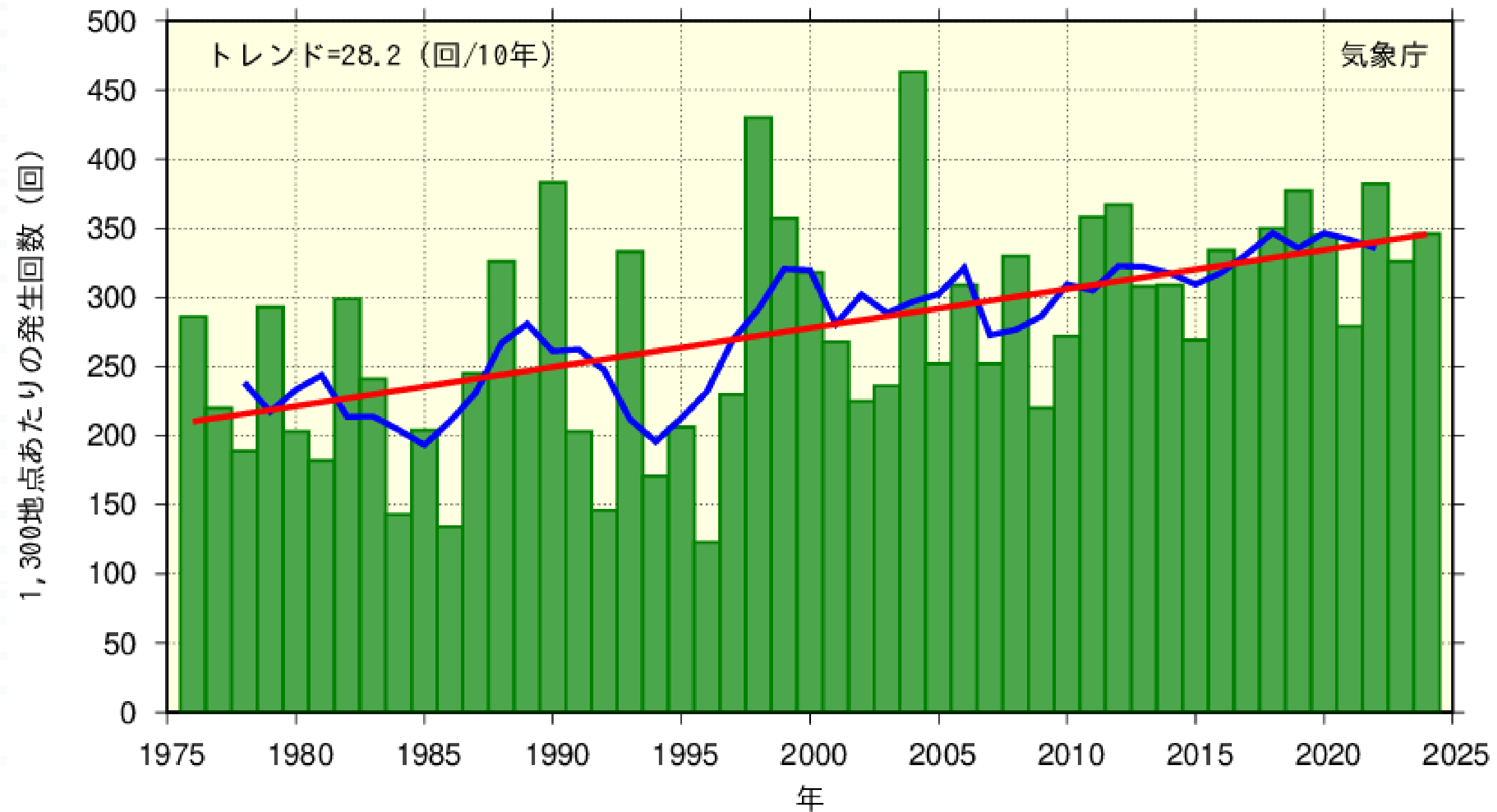
今夏、日本の平均気温
観測史上最高を記録
(統計開始 (1898年) 以来)

新潟市
6月と7月の平均気温が
観測史上最高

記録的少雨からの大雨

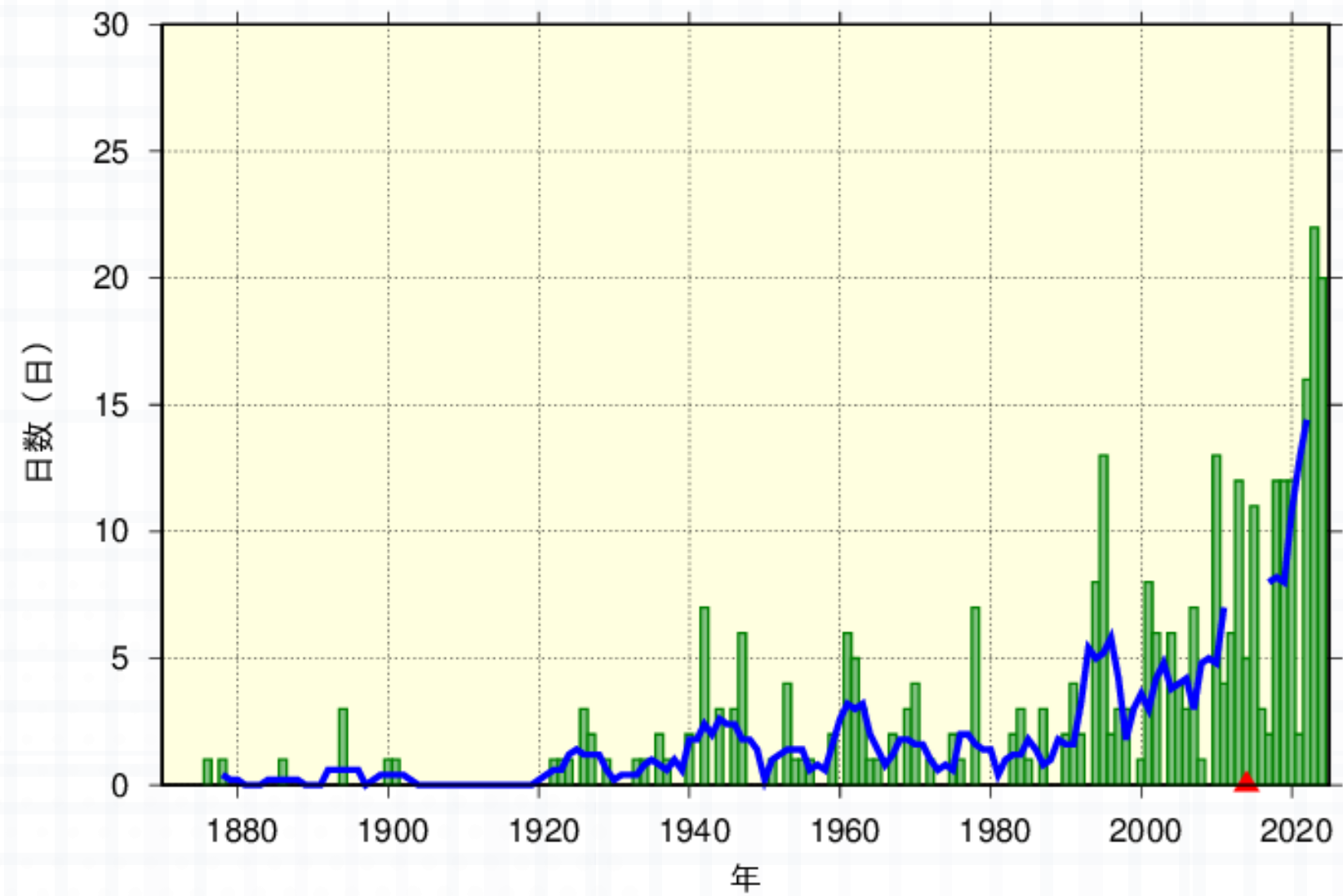
大雨の増加

〔全国アメダス〕 1時間降水量50mm以上の年間発生回数

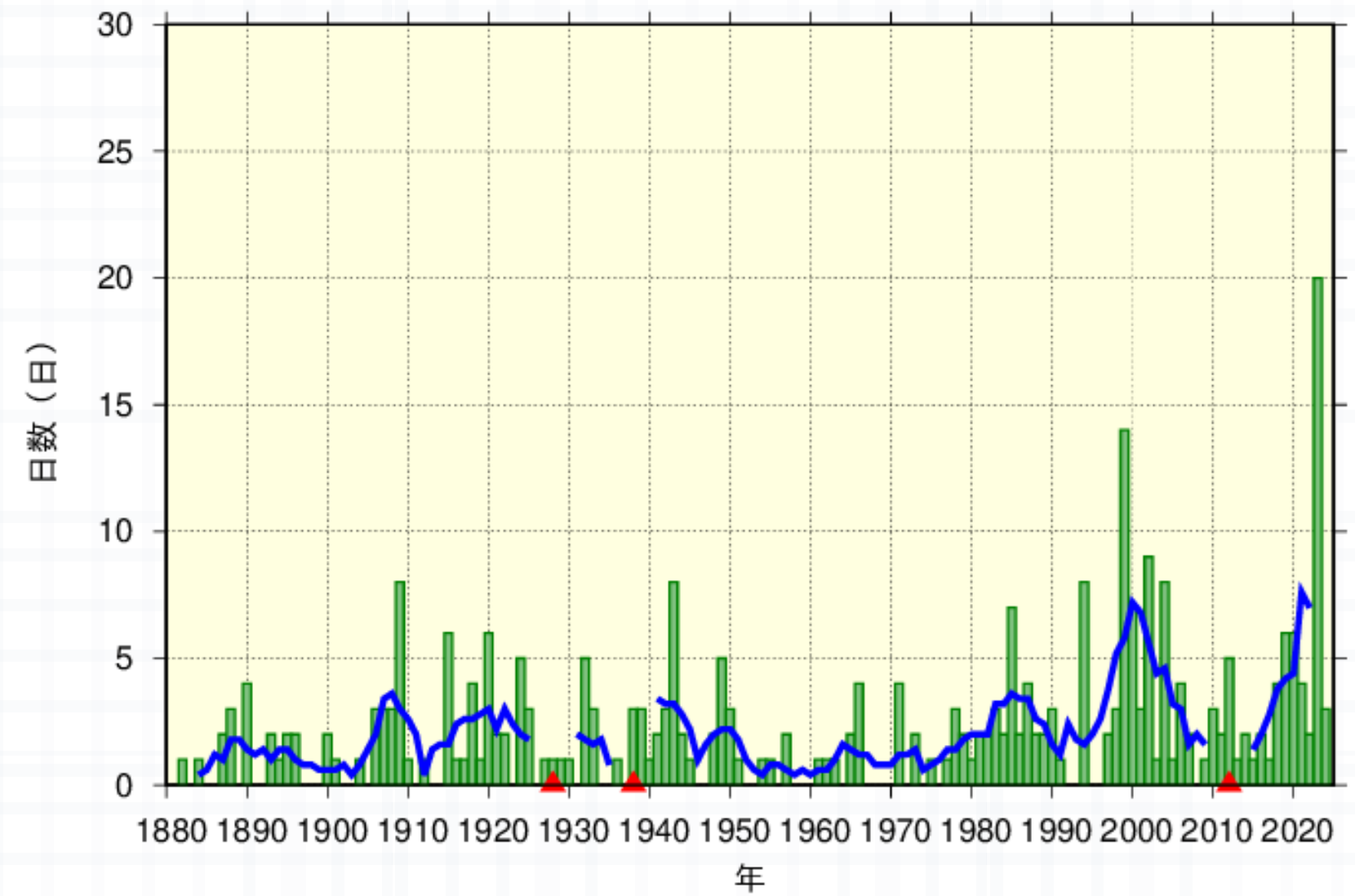


猛暑日の増加

東京の年間猛暑日日数



新潟の年間猛暑日日数



芸術において環境負荷の高いこと

01

絵画の輸送

飛行機輸送における展示会等の負荷が大

アートの地産地消

02

人の輸送

活動に伴う人の移動

オンライン開催、公共交通機関利用推奨

03

美術館の維持

温度・湿度管理→温暖化の影響も

再生エネルギーの活用

04

物の消費

創作活動のための資源の利用

リサイクルを活用。長く愛されるデザイン

失われるアート

しとしと雨の梅雨

歌川広重

《東海道五十三次 虎が雨》



失われるアート

しとしと雨の梅雨

歌川広重

《東海道五十三次 虎が雨》



失われるアート

川や海に近い風景

ヨハネス・フェルメール

《デルフト眺望》



実践例

アートで気候変動を伝える

オラファー・エリアソン

- ・ 飛行機を使わない作品輸送
- ・ 海外スタッフ 0 の実施
- ・ ソーラー電池やリサイクル素材を使ったもの、発泡スチロールやプラスチックを使わない方法
- ・ 矢われゆく氷河の展示

